

經濟水道委員會

說明資料

令和4年3月14日
觀光文化交流局

目 次

頁

1	アーバンヘルスツーリズムの推進	1
2	コンベンションの誘致に係る（公財）名古屋観光コンベンションビュー ローによる展示会誘致の取り組み	2
3	国際展示場機能強化に向けた交通対策等	3
4	国際会議場の整備・運営で実施する主な機能強化	4
5	新たな文化芸術推進体制の実施	5
6	市内の1,000席以上の主なホール	6
7	歴史的風致維持向上計画の主な成果と課題	7
8	デジタルサイネージの設置	8
9	名古屋城内の植栽管理に係る主な課題	9
10	二之丸庭園の保存整備	10
11	金シャチ横丁第二期整備（芝居小屋風多目的施設の整備基本計画策定及 び設計）	11
12	名古屋城木造天守の昇降技術に関する公募	12
13	実施設計	14
14	石垣調査等	14
15	全体計画策定に係る想定スケジュール	15
16	「新たな工程」の素案（令和2年10月7日経済水道委員会提出資料）	16

1 アーバンヘルスツーリズムの推進

(1) 趣旨

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大を契機に増加した心身の健康増進をコンセプトとした観光に対する需要を確実に名古屋に取り込むため、新たな名古屋観光のあり方として「アーバンヘルスツーリズム」を創出する
- ・名古屋独自のコンテンツを活かした新たな名古屋観光のブランディングを推進することで、観光消費の拡大及び地域経済の活性化を図る

(2) 内訳

(単位：千円)

区 分	内 容	金 額
ブランドアイデンティティの定義	ブランドの名称、ロゴ、コンセプトの作成	1,000
観光客誘致イベントの開催	ロゲイニングの開催	3,000
観光関連事業者との連携	クーポンブックの作成	1,000
ブランドの普及	全国プロモーションの実施	13,000
計		18,000

2 コンベンションの誘致に係る（公財）名古屋観光コンベンションビューローによる展示会誘致の取り組み

区 分	内 容
基本的な考え方	・ M I C E誘致の目的は、地域の持続的な発展に向けたイノベーションの創出、交流人口の増加による地域への経済波及効果及び都市間競争力の向上 ・ 高い経済波及効果が期待されるとともに、オンラインでの開催が活発化しているM I C Eの中でもリアル開催の意向が強いという性質を捉え、見本市・展示会の誘致に注力
取り組み	・ 当地域の産業特性等を活かした新たな見本市・展示会の開催に向け、主催者に対して名古屋での開催を企画提案 ・ 経験・ノウハウを活かし、国際・国内会議と見本市・展示会の同時開催を調整。併せて、セミナー、ニーズとシーズのマッチング等の実施による国際・国内会議と見本市・展示会の融合・交流を目指す
期待される効果	・ 国際・国内会議の研究成果と見本市・展示会の技術の交流促進によるイノベーションの創出 ・ 国際会議場及び国際展示場の利用促進 ・ 交流人口の増加に伴う経済波及効果の創出

3 国際展示場機能強化に向けた交通対策等

(1) 周辺道路における交通対策

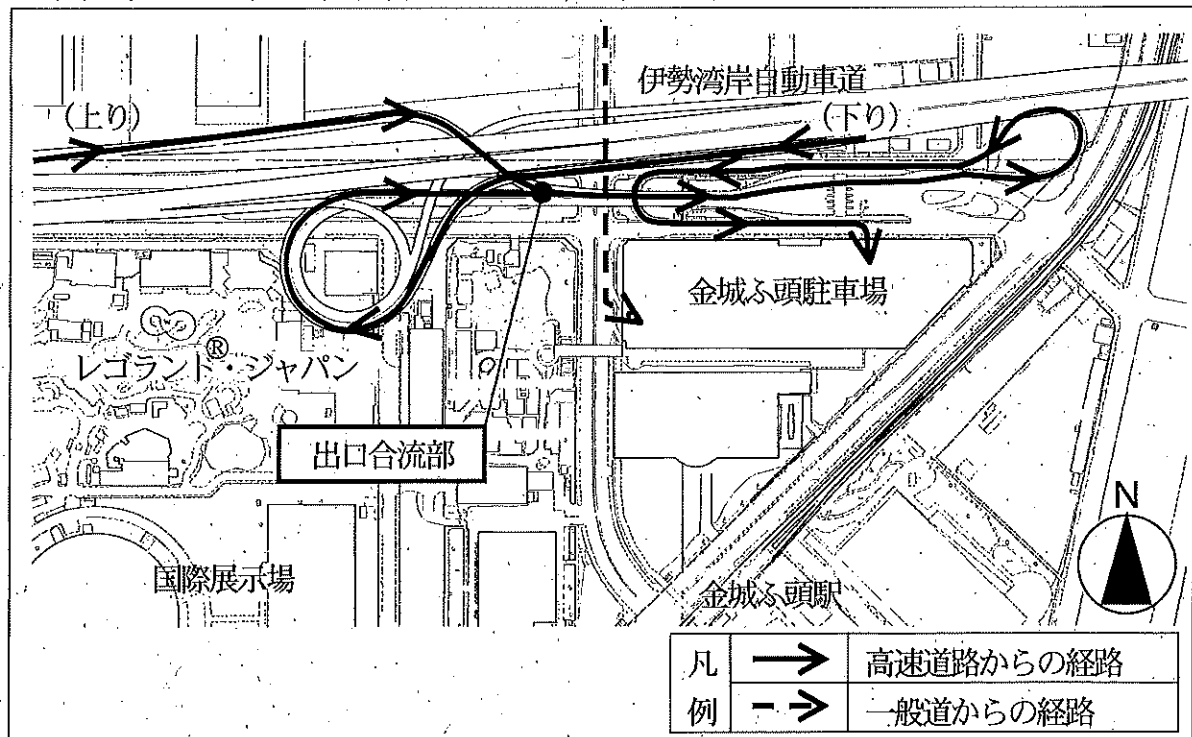
ア 主な課題

名港中央 I C 及び周辺道路における交通集中に対する交通処理対策

イ 主な検討内容

- ・名港中央 I C 出口合流部から金城ふ頭駐車場に至る経路における道路改良に関する技術的な概略検討等
- ・混雑削減を図るためのソフト対策

ウ 名港中央 I C 出口合流部から金城ふ頭駐車場に至る経路の位置図



(2) 施設計画に関する主な検討内容

- ・防災センターの仮移設
- ・運営事務室の仮移設
- ・受変電経路の切り替え

4 国際会議場の整備・運営で実施する主な機能強化

(1) 利用ニーズへの対応

区 分	内 容
会議のハイブリッド化対応	・動画の配信等に対応した最新のネットワークシステムに更新
フレキシブルな展示スペースの確保	・平土間形式の展示室（2,500㎡×2層） ・展示室は2分割、4分割の利用が可能な仕様を採用
十分な駐車台数の確保	・敷地全体で650台から950台へ増設 ・車番認証システムと事前精算システムを導入

(2) 社会ニーズへの対応

区 分	内 容
ユニバーサルデザイン対応	・福祉都市環境整備指針に基づき整備 ・難聴者補聴設備の導入 ・スロープ整備、車椅子席の充実化
防災機能の拡充	・防災機能を指定している部屋の照明・空調等を非常用発電機の負荷対象に設定 ・展示施設の各部屋で陽圧・陰圧が調整可能な換気システムを導入
感染症対策機能の充実	・手摺、建具のレバーハンドルの抗菌仕様化 ・アルコールディスペンサーの設置 ・エレベーターにタッチレスボタンを採用
持続可能性への貢献	・展示施設屋上に太陽光発電設備を導入

5. 新たな文化芸術推進体制の実施

(1) 内訳

(単位：千円)

区 分	金 額
文化芸術評議会の運営	750
設立及び活動支援業務	4,800
文化芸術創造委員会（仮称）運営経費	62,850
事務所経費	9,600
計	78,000

(2) 文化芸術評議会及び文化芸術創造委員会（仮称）の人選の考え方

区 分		内 容
文化芸術評議会		・学識経験者 ・文化芸術関係者 ・文化芸術分野以外の有識者 ・民間企業関係者
文化芸術創造委員会（仮称）	理事会	・学識経験者 ・文化芸術関係者 ・文化芸術分野以外の有識者 ・民間企業関係者 ・市職員
	事務局	・専門人材 ・市職員

6 市内の1,000席以上の主なホール

(単位：席)

区 分	席 数
国際会議場センチュリーホール	3,002
愛知県芸術劇場大ホール	2,456
市民会館大ホール	2,291
愛知県芸術劇場コンサートホール	1,796
公会堂大ホール	1,552
御園座	1,299
名古屋四季劇場	1,200
市民会館中ホール	1,146

7. 歴史的風致維持向上計画の主な成果と課題

(1) 成果

- ・歴史的建造物、歴史的町並みの保存事業の進捗
- ・地域の身近な歴史的建造物を守る登録・認定地域建造物資産の件数の増加
- ・各種整備事業における国庫補助の拡充

(2) 課題

- ・歴史的建造物の民間活用に向けた促進策の検討
- ・観光魅力の向上に繋がる名古屋の歴史文化の情報発信
- ・本市所有の歴史的建造物の保存活用の推進

8 デジタルサイネージの設置

(1) 趣旨

名古屋城内の見所等の基本情報のほか、季節催事や民間事業者と連携した各種イベント等の情報や金シャチ横丁をはじめとした城内の便益施設の周遊性を高めるための情報を発信する

(2) 内容

区 分	内 容
掲載情報	見所案内 ・本丸御殿や二之丸庭園等の城内各所の紹介 便益施設紹介 ・金シャチ横丁や売店等の紹介 催事案内 ・二之丸広場や貸出施設でのイベント情報の紹介 各種注意事項 ・感染症対策等の情報 等
設置場所	正門、東門
仕様案	・幅約1.8m×高さ約2.0m ・7.5型ディスプレイ ・自立・キャスターストッパー付 ・日本語、英語、中国語（繁体字・簡体字）、韓国語対応 等

9 名古屋城内の植栽管理に係る主な課題

区 分	地 区	内 容
遺構の保存に影響を及ぼしている植栽	本 丸	・石垣の保存に影響を与える樹木
	二 之 丸	・石垣の保存に影響を与える樹木
	御深井丸	・石垣をき損している樹木
城郭としての歴史的景観を阻害している植栽	本 丸	・樹形が乱れている植栽群
	西 之 丸	・植え直しがされていない低木
	御深井丸	・天守閣への眺望を遮る高木植栽群
安全性が懸念される植栽	本 丸	・園路に向かって植わっている樹木
	西 之 丸	・建物上に向かって植わっている樹木 ・園路舗装に段差を生じさせている樹木

10 二之丸庭園の保存整備

(1) 経緯

区 分	内 容
平成24年度	名勝名古屋城二之丸庭園保存管理計画策定
平成25年度	保存管理計画に基づき保存整備事業に着手
平成29年度	国指定名勝区域の追加指定（指定区域の拡大）
令和3年度	名勝名古屋城二之丸庭園整備計画を策定予定

注 昭和28年3月31日国指定名勝に指定

(2) 内訳

(単位：千円)

区 分	内 容	金 額
調 査	^{よほう} ・余芳再建予定地周辺の発掘調査 ^{きたえんち} ・北園池の護岸や池底の発掘調査 等	53,000
庭園修復	・北園池の護岸修理 ・余芳移築再建に向けた敷地造成 等	34,726
計		87,726

1.1 金シャチ横丁第二期整備(芝居小屋風多目的施設の整備基本計画策定及び設計)

(1) 整備方針

- ・休憩所と飲食場所を充実させ、名古屋城観光のおもてなし機能の強化を図る
- ・尾張名古屋の伝統芸能や時代に応じた興行により、にぎわいを創出し、名古屋の文化芸術に親しむ機会づくりを推進する

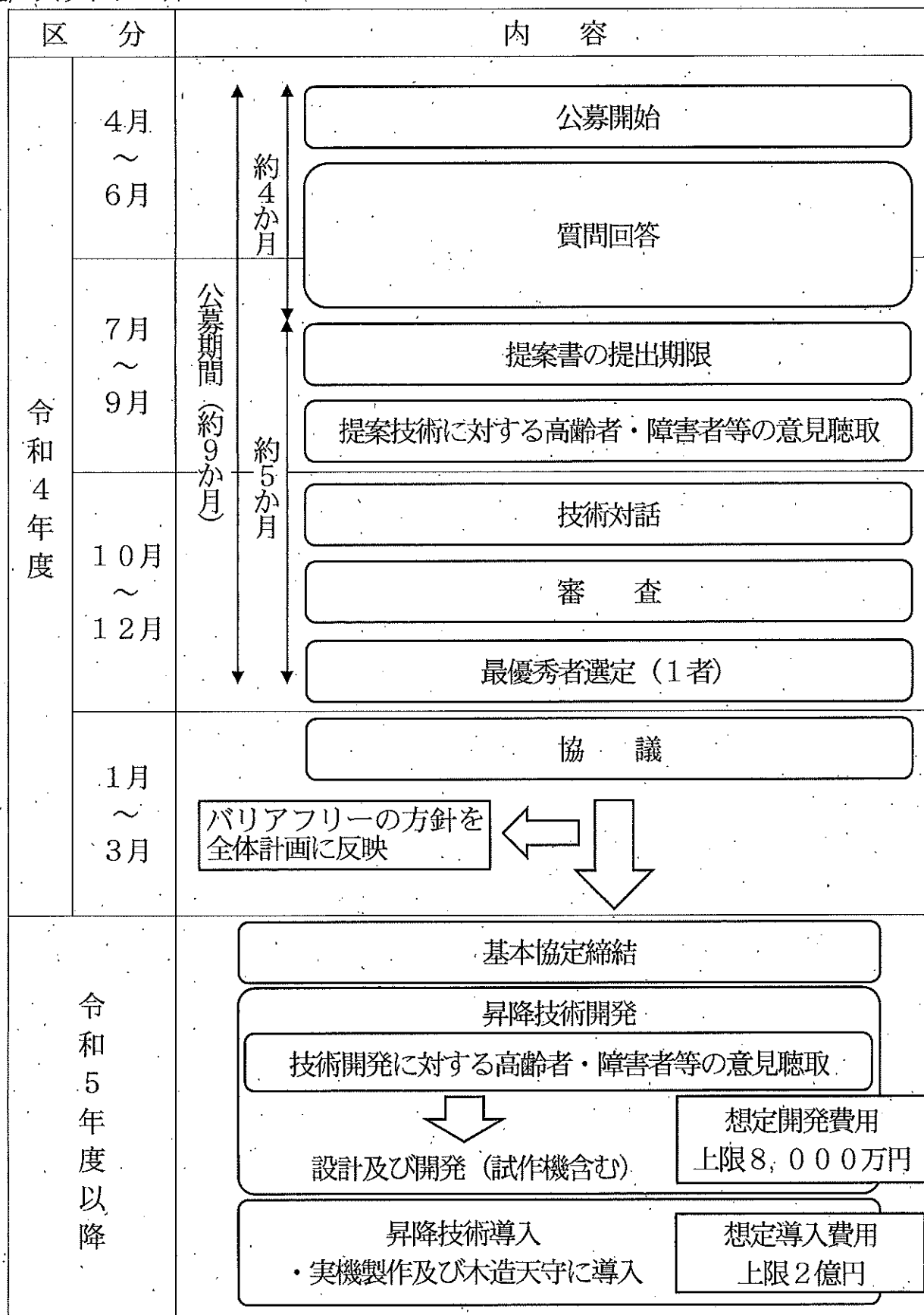
(2) 内訳

(単位：千円)

区 分	金 額
基本計画の作成	8,000
地質調査	6,000
設 計 (債務負担行為)	82,000 (令和5年度)
計	96,000

1.2 名古屋城木造天守の昇降技術に関する公募

(1) スケジュール



(2) 公募支援業務委託の主な業務等

区 分	内 容
公募形式	・国内外から提案を募る技術コンペ
業 務	・公募プロモーション ・公募受付支援 ・質疑回答支援 ・各種通訳、翻訳 ・会議等の開催に係る支援 ・参加資格確認支援 ・公募技術に係る法的支援 ・審査に係る支援 ・最優秀者との契約協議支援 ・その他付随する業務への支援

1.3 実施設計

(単位：千円)

区 分	内 容	金 額
設計業務	・設計図作成 ・構造解析 ・現状変更許可申請書類作成	14,000
調査業務	・史実調査	1,000
計		15,000

1.4 石垣調査等

(単位：千円)

区 分	金 額
石垣保存方針の策定に係る調査	198,248
穴蔵石垣背面調査	153,977
橋台発掘調査	44,271
天守台周辺石垣対策計画策定等	16,427
天守台周辺石垣対策計画策定	10,927
石垣モニタリング	5,500
計	214,675

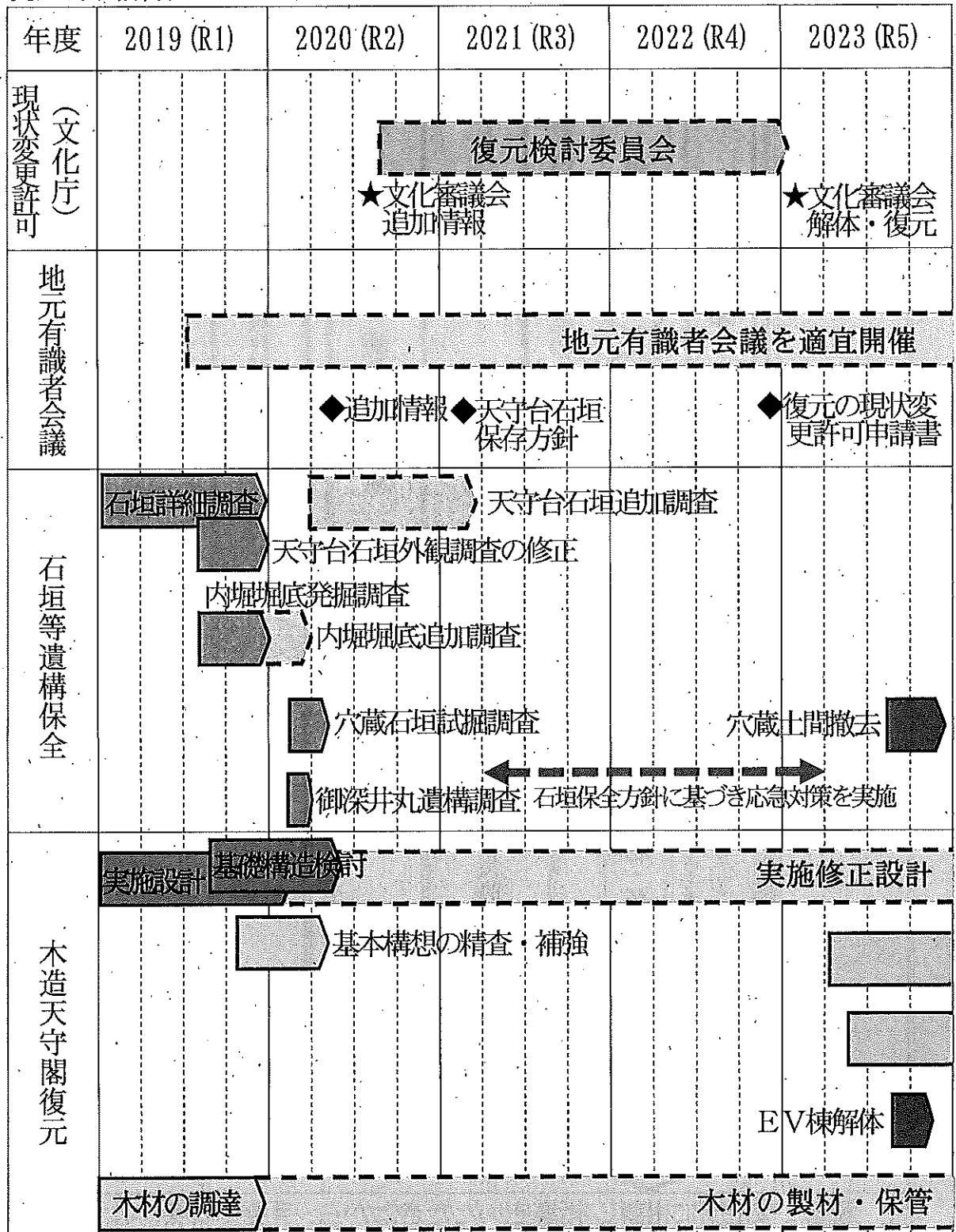
15 全体計画策定に係る想定スケジュール

区 分	解体と復元を 一体とした全体計画	石垣保存方針 基礎構造の方針	天守全体の バリアフリーの方針
4月 ～ 6月	復元原案 基本構想・復元の概要等 全体計画の検討・とりまとめ	穴蔵石垣背面調査・橋台発掘調査 天守台周辺石垣対策計画	昇降技術の公募・選定
7月 ～ 9月	復元計画（基礎構造・バリアフリー等） 石垣保存方針	検討した方針を全体計画に反映	
10月 ～ 12月	その他・修正・まとめ		
1月 ～ 3月			

注 適宜、文化庁に相談し指導をいただきながら、手戻りの無いように進める

1.6 「新たな工程」の素案（令和2年10月7日経済水道委員会提出資料）
《基本的な方針》

- ・天守閣木造復元が実現可能な手順、工程とする
- ・石垣等遺構の調査・保全については、全力を挙げて取り組む
- ・現天守閣解体と天守閣木造復元を一体として現状変更許可を取得する



注1 令和2年3月31日特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議時点
注2 所要期間が不確定な手順については点線で表示

- ・復元工事の期間については基本的に変更しない
- ・今後速やかに石垣・埋蔵文化財部会、天守閣部会に諮った後、再度全体整備検討会議に諮り確定する

